

令和3年度
参観者 感想集

七ヶ浜町教育委員会

【七ヶ浜町立七ヶ浜中学校】 公開授業 3年1組 ①がっつり表現コース 和田 朋子

②みっちり基礎コース 鈴木 美夏

令和3年11月8日(月) 「A Legacy for Peace」

| No. | 参観者 | 団体 | 感想 |
|-----|-------|---------------------|--|
| 1 | 松嶋 大孟 | 富谷第二中学校 | 5ラウンド実践について多く知ることができ大変有意義な研修会でした。生徒のライティング、スピーキングなどのアウトプット能力の高さに驚きました。自校での実践に生かしていきたいと思えます。貴重な機会をありがとうございました。 |
| 2 | 鈴木真由美 | 利府中学校 | どの生徒たちも前向きに学習に取り組む姿勢が素晴らしかったです。苦手意識はまったく感じられませんでした。あのような生徒たちを育てられた、先生方の指導力、授業力の積み重ねの成果ですね。現任校でラウンドシステムを取り入れることは難しいですが、round1のリスニング、round3の音読など、可能なものは自分の授業にも取り入れさせていただきたいと思えます。語る会では、疑問点について回答していただいたり、情報交換ができたので、貴重な時間となりました。ありがとうございました。 |
| 3 | 工藤 里江 | 多賀城東小学校 多賀城八幡小学校 | 授業を参観させていただきありがとうございました。生徒たちの授業に向かう姿勢が、素晴らしくパターン化されたシステムに慣れている様子が伝わりました。5ラウンドシステムに入る前の帯活動をはじめ、授業に対する安心感や向上心が常に感じられ、授業に一番大切なことだと改めて考えさせられました。ペアの活動では、アイコンタクトをしながらレスポンスを返している様子や、気持ちを伝えようとチャレンジしている姿がとても立派でした。小学校から中学校への連携では、とにかく英語嫌いをなくしたいと思えます。自信を持って中学校へステップアップできるように日々子どもたちと向き合いたいと思えます。ありがとうございました。 |
| 4 | 樋渡 祐美 | 大和中学校 | システムの説明並びに授業提供ありがとうございました。今までの英語授業の進め方の概念ががらっと変わるような新鮮な体験でした。生徒さん達が生き生きと楽しそうに英語を話す姿は私たちの理想そのものでした。このシステムをすぐに取り入れることは難しいですが、できるところから少しずつ参考にさせていただきたいと思えます。貴重な学びの場をいただきありがとうございました。また、ここまでの準備お疲れ様でした。 |
| 5 | 森 温子 | 鹿島台中学校 | がっつりコースの story telling writing で子どもたちが黙々と英語で書き続ける姿に感心しました。書くことに苦手意識のある生徒が多いとよく聞きますが、あのように間違いを恐れずにどんどん書けるのは、継続して指導に取り組まれた成果だと感じます。また、みっちりコースの子どもたちも協力しながらいきいきと活動に取り組んでいた姿が印象的でした。同じように5ラウンドでの授業はすぐにはできませんが、今後の授業では本文をたくさんきか |

| | | | |
|----|-------|--------|--|
| | | | せてインプット量を増やすことを意識したいと思います。大変勉強になりました。ありがとうございました。 |
| 6 | 金子紗侑莉 | 七ヶ浜中学校 | 何度も繰り返し読むことで力が身に付いていると思いました。声がしっかりと出ていて良かったです。 |
| 7 | 丹野 大輝 | 七ヶ浜中学校 | テンポ良く授業が進んでおり、子どもたちも一生懸命取り組んでいました。日頃から取り組んでいる帯活動の成果が出ているように感じました。 |
| 8 | 土井 康義 | 七ヶ浜中学校 | 授業を参観して、いろいろなやり方で、50分の授業のうち、40分以上、英語を話している生徒の姿が、印象的で、まさに英語にどっぷりとつかっている感じがした。豊富な発話量が確保され、初見の英語も恐れることなく、話そうとする意識の高さに感動を覚えた。 |
| 9 | 佐々木伸浩 | 七ヶ浜中学校 | みっちり基礎コースを参観しました。自分の教科で見る姿とは違いとても生き生きと授業に取り組んでいる姿が印象的でした。 |
| 10 | 加藤 知美 | 七ヶ浜中学校 | とても、意欲的に質問したり、回答するなど英語コミュニケーションが定着していると思いました。 |
| 11 | 吉田 裕子 | 七ヶ浜中学校 | 生徒が率先して、発音をするなど生き生きとした態度で授業に取り組んでいた。教師は、ほとんどが英語での指示で生徒も理解して取り組んでいた。皆んなで声を出すことで、発音しやすいのだと思った。クラス分けをすることで自分に合ったペースで出来ることで、自信も付いてくると思った。とても良い授業を見せていただきありがとうございました。 |
| 12 | 森 妙子 | 七ヶ浜中学校 | 会話を中心とした授業の展開で、生徒が英語を身近に感じて親しんでいる様子が見られました。また、プリントに構文が記されており、どの順番でどのように文を構成したら良いかが生徒に分かりやすくなっていた点にも感心しました。ありがとうございました。 |
| 13 | 木村 純一 | 七ヶ浜中学校 | 実力テスト等で点数が取れない子が多いクラスでも、英語で一生懸命に表現しようとしている様子が見られ、3年間の継続的な指導の成果が感じられた。 |
| 14 | 津田 拓真 | 七ヶ浜中学校 | 長期にわたる地道な指導の積み重ねを、子どもたちの学ぶ姿勢から感じ取ることができました。知識のインプットからアウトプットへの流れがルーティン化されており、実技教科においても学ぶべき点が多くありました。 |

| | | | |
|---|-------|-----------|--|
| <p>【七ヶ浜町立汐見小学校】 公開授業Ⅰ 4年1組 Nathaniel Hazel Stuart(T1) 本木 真理子 (T2) 「教えてあげる, お気に入りの場所」</p> <p>公開授業Ⅱ あおぞら なかよし どんぐり たんぽぽ 1, 2組 Kevin Alexander Blake(T1) 阿部伸一郎(T2) 中嶋紀恵(T2) 千葉淑美(T2) 太田智也(T2) 和泉陽子(T2)</p> <p>令和3年11月9日(火) 「アニマルランドへようこそ」</p> | | | |
| 1 | 水野 充 | 多賀城八幡小学校 | とても有意義な会でした。英コミュの3目標など他の教科にも同じことがいえると思いました。また、汐見小学校の勤務経験があり、英コミュの授業スタイル忘れないようにしたために、今回参加しました。今回の授業を八幡小学校でも使えることは、使って行きたいと思います。 |
| 2 | 木村 明子 | 赤井南小学校 | 特区だからこそできる取り組みに、職員が誇りをもって長年に渡って取り組んでいるご様子に刺激を受けました。 私に与えられた場で、より良い授業の形を探っていきたいと思います。 ありがとうございました。 |
| 3 | 堀之内優樹 | 東松島市教育委員会 | 子供たちが、生き生きと活動しながら、英語に慣れ親しむ姿が印象的でした。低学年から、英語に慣れ親しむことの効果を感じます。今後、高学年から新しいカリキュラムを作成すること。とても、興味があります。ありがとうございました。 |
| 4 | 谷地森優花 | 古川北小学校 | 素晴らしい授業大変ありがとうございました。昨年、特別支援学級の英語を担当しましたが、昨年度の積み重ねを元に更なる子供たちのレベルアップが見られました。子供たちは一生懸命 ALT や友達の話に耳を傾け、活動に積極的に参加する様子が見られました。対人コミュニケーションが非常に未発達な特別支援学級の子供達にとって、相手の話や意見に興味を持ち、相手と活動を共にする経験は生涯に渡って価値のある経験だと感じました。また、特性に合わせた場の設置も大変勉強になりました。どうもありがとうございました。 |
| 5 | 和泉 陽子 | 汐見小学校 | 子供たちが自分から積極的に発話できていて良かったです。普段と違う雰囲気初めは怖がっていた1年生も、アクティビティに参加できただけでなく振り返りに挙手して発表できていました。英語の授業を通してコミュニケーション能力が確実に身につけてきているのを担任として実感できました。 |
| 6 | 佐々木明香 | 汐見小学校 | 授業では、特別支援学級の子どもたちが、生き生きと自分の考えを表現している姿を見ることができました。指導者の教材の準備が素晴らしく、児童の関心を高める工夫がたくさんなされていました。また、指導者がチー |

| | | | |
|----|-------|-------|--|
| | | | ムワークよく活動を進めていく中で、子どもたちの関わり方が積極的になっていくのが分かりました。英語のやりとりだけではなく、非言語コミュニケーションが交わされており、日々の指導の積み重ねを感じました。語る会では、子ども同士の関わりを増やす取り組みや、英単語の扱い方について新たな気づきを得ることができました。今後の指導と学級経営に生かしていきたいと思いました。 |
| 7 | 阿部伸一郎 | 汐見小学校 | <p>これまでの特別支援部の取り組みを見て頂きました。様々な配慮と工夫が必要な子ども達の学習の様子や授業づくりを他の学年にも広げ、役立てていければと思います。特別支援学級の子供達には、将来、社会の中で生きていくための力を育てるため、引き続き英語コミュニケーションの時間を充実させていきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTと担任の先生の「見せ方」が大変すばらしかったです。表現力豊かで、どこかコミカルな要素まで含んだデモンストレーションにより、「活動のやり方の理解」「基本表現の確認」「楽しさのアピール」のみならず、「コミュニケーションの奥深い魅力」まで伝えていました。実際に、お二人とも楽しんで授業しているように見えました。 ・今回、日程的に話し合いには参加できないので、授業だけ拝見するのは失礼かなと思って申し込まなかったのですが、前日に本校へいらした當舎先生からの宣伝を聞いて、どうしても行きたくなって参加しました。授業者の先生がそのくらいの信念をもって授業されているので、子供たちもこれだけ力が付いているのだと感じました。参観していても楽しく、大変良い刺激を受けました。 |
| 8 | 関 千紘 | 汐見小学校 | 特別支援教育における英語活動の在り方について、教育課程の連続性という観点から、大変学びの多い授業でした。通常学級と共通の教材を経験することは、お互いに共感したり協力したりできる素地に繋がると感じられる1時間でした。 |
| 9 | 坂本 雅紀 | 汐見小学校 | 振り返りの時間が充実していた。多様な感想や友達への称賛の声が多くあった。ALTの指示の担任の日本語訳が気になった。必要最小限で良いのではないか。今後の指導に生かしたい。 |
| 10 | 本木真理子 | 汐見小学校 | <p>今までの授業の成果を見せることができ、子供たちは満足そうであった。好きな場所を紹介するスライドにもっとこだわりたい児童もいたので、もう少し制作の時間をとってあげればよかった。</p> <p>児童の実態に合わせた課題やアクティビティを柔軟に入れられてよかった。1年生から6年生までのカリキュラムをこれから作成するにあたり、それぞれの学年での到達目標・内容の整合性を重視していきたい。</p> |
| 11 | 千葉 淑美 | 汐見小学校 | 1、2年生はいつもと違う6時間目までの授業。特別支援と4年生だけが残ったの公開授業で、児童のモチベーションが保てるかが不安だったが、集中 |

| | | | |
|----|-------|-------|--|
| | | | <p>して学習に取り組めた。それは、英語コミュニケーションを児童がいつも楽しみにしていたことが要因であると考えた。ケビン先生の児童理解と指導力、支援学級の先生方の普段からの児童に関する情報共有など、児童が楽しみながら、英語に触れ、友達と関われる様に話し合いを重ね、工夫をしてきたことが今回の条件でも、いつも通りの授業を行なえた要素と考える。</p> <p>さらに、コミュニケーション力を高めるために、先生が担当していたお店役を児童にさせることでレベルアップを図りたい。英語の文字やスペルの習得については、イラストに単語や単語の頭文字を加え、自然に視覚的に習得する形が良いと考えた。</p> <p>いつもは1~2人だけで活動している児童にとっては、12人の少人数であっても、一緒に活動すること自体がとても良い刺激になっていることがわかった。色々な友達や先生方と活動し関わることは、児童にとってとても良い効果を生んでいるので、特別支援学級合同でのこのような授業は、これからも継続していきたい。</p> |
| 12 | 高橋奈保子 | 汐見小学校 | <p>振り返りの時間をしっかり取ることで、児童のできたこと、友達の良かったところなどをたくさん引き出すことができていた。語る会では、より良い振り返りの仕方や時間の扱い方などを話し合うことができ、参考になった。</p> |
| 13 | 遠藤 克己 | 汐見小学校 | <p>Because~の説明に I like ~という児童が習った表現を入れていくと英語の日常化につながっていくと思います。習った表現、単語を無理なく、日本語の表現を交えながら使っていくと良いと思います。</p> |
| 14 | 東海林 充 | 汐見小学校 | <p>授業としては、あれぐらいしっかり時間を取って振り返りをすれば、書く内容もしっかりしたものになるし、他の児童に対する感想やこれからの目標も意見として出るのだなと感じた。</p> <p>話し合いの中で出たのは、声に出す英語をアルファベットの文字として認識していない子への働きかけをどうするかということである。4年の担任としては、4年から5年への橋渡しとして、まずはローマ字をしっかり覚えさせないといけないと感じた。</p> |
| 15 | 佐藤 亮太 | 汐見小学校 | <p>普段の授業では学年の先生と英コミの授業内容に関して相談することが多いです。</p> <p>今回、多くの先生方とT2の立ち位置や児童に応じた授業展開、目指している授業など多くの考えを共有することができました。今回学んだことを糧に今後のより児童のためになる英コミを実践していきたいと思います。</p> |
| 16 | 文屋 優友 | 汐見小学校 | <p>カリキュラム作成において、自分自身大切なものをある程度考えることができた。</p> |
| 17 | 前森菜美子 | 汐見小学校 | <p>英語コミュニケーション科での振り返りのさせ方を考えるヒントがたくさんありました。子供の姿から、日頃の学級経営の大切さを実感したので、自分の学級でも、何でも言い合えて英語で話したくなるような環境を整えてい</p> |

| | | | |
|----|-------|-------|--|
| | | | きたいです。 |
| 18 | 熊谷 宏規 | 汐見小学校 | <p>語る会での話合いの中で、外部から参観の先生や汐見小学校に今年赴任した先生方の話を聞き、改めて外国語ではなく、英語コミュニケーションの良さや専科ではなく担任が英語コミュニケーションの担当を行うメリットなどを再確認することができた。同時にその良さやメリットを最大限に発揮できる授業作りが必要だと感じた。</p> <p>発話量について話合う場面があったが、ただ作業的に言わせるのではなく、気付いたらたくさん話していたという仕掛けがあると良いという話題になった。その仕掛けを授業作りの際に意識していけると良いと思った。</p> <p>この公開授業で学んだこと、考えたことをこれからの汐見小学校の英語コミュニケーションに生かしていきたい。</p> |
| 19 | 太田 智也 | 汐見小学校 | <p>色々な先生方のお話を聞く機会になり、とても参考になりました。英語の単語を教える時には、絵やイラストなどを工夫することで様々なわかりやすい人がいるので取り入れていきたいです。また授業を行うときにそれぞれの役割をしっかりと意識して授業を行えた事は良かったかなと思いました</p> |
| 20 | 中嶋 紀恵 | 汐見小学校 | <p>特別支援学級でT3として授業を行った。</p> <p>これまで、子供が安心してコミュニケーションを図れるようにすることを大切に、様々な手立て（題材の工夫、繰り返しの活動、場の設定、実態に応じた声掛け等）を講じて授業を行ってきた。その積み重ねにより、子供達は英語を用いた基本的なやり取りの仕方を身に付け、自分の思いを持ってアクティビティに取り組むことができるようになってきたように感じる。</p> <p>また、本時では振り返りの活動として、アクティビティで作成したオリジナルの「アニマルランド」を見合い、気に入った友達の作品について伝える活動を行った。振り返りは10分設定していたが、足りなくらい多くの子供が話し、コミュニケーションを楽しむ子供の姿を嬉しく思った。</p> <p>特別支援学級としては今後、授業の中で子供同士のやり取りをさらに豊かにしていきたいと考えている。英語をツールとしてコミュニケーションの力を育むことを念頭に置き、そのためのより良い手立てを学んでいきたい。</p> |
| 21 | 千葉 梢 | 汐見小学校 | <p>特別支援学級での授業において、自分の考えを伝えようとする児童の姿が見られた。具体的には、分からない言葉を教員に聞いて、真似をして言おうとしたり、ジェスチャーで動物を伝えたりしていた。「どのように言えばよいのか分からない」という壁を解決して伝えようとする姿だと感じた。</p> <p>また、友達の考えに共感したり、友達の作品への良さを伝えたりといった、他者意識を持ったコミュニケーション活動は、自分の学級でも行いたいと感じた。</p> |
| 22 | 高橋 心 | 汐見小学校 | <p>語る会での話題に出た小・中連携を少しずつ、決して無理のないように進</p> |

| | | | |
|--|-------|----------|---|
| | | | めていけるとよいと思う。先日、中学校の先生から「勉強を苦手としている生徒が、5ラウンドシステムの英語をととてもよい表情で学んでいる。」ということを知った。中学1年生が、4月から、5ラウンドシステムをよりスムーズに進めていけるように、小学校高学年の英語コミュニケーション科で大切にしていくとよいことなどについて情報交換が設けられるとよい。いただいた情報を年間指導計画にも反映できる部分が出てくると考える。 |
| 23 | 山口 良之 | 汐見小学校 | 自分の思いを伝え合う大切さについては、外国語・日本語に関わらずこれからの子どもたちにとってはとても大切になるはずなので、楽しい雰囲気の中で学習する環境を我々が作っていくのは、(大変な労力を必要とすることは認めつつ) 意義があることなのだと改めて感じました。 |
| 24 | 香取 幸貴 | 汐見小学校 | 英語コミュニケーションを開始した当初は、明るく、楽しく、元気よくのみを意識した授業作りをしていたが、研究も6年目になり、質の高いコミュニケーション、豊富な発話量を意識した授業を目指す段階にきた。特に高学年の授業には課題が多いので、1年生から英語を学ぶアドバンテージを生かし、よりレベルの高い授業づくりをしていきたい。 |
| 25 | 阿部 富美 | 汐見小学校 | 特別支援学級の授業を参観しました。まさに明るく・楽しく・面白い!授業でした。ALTの先生と担任の先生方とのチームワークが良く、子供達が喜んで取り組める教材や、安心して授業を受けられる工夫が満載でした。 |
| <p>【七ヶ浜町立松ヶ浜小学校】 公開授業Ⅰ 1年1組 Kevin Alexander Blake (T1) 長澤 亜紀子 (T2) 「すきなくだものなあに？」</p> <p>公開授業Ⅱ 4年1組 Nathaniel Hazel Stuart(T1) 原田 真紀子(T2)</p> <p>令和3年11月10日(水) 「くらべてみよう。どっちが大きい？」</p> | | | |
| 1 | 勝又 友 | 蛇田小学校 | 子供たちが生き生きと前向きに学んでいたのが、とても印象的でした。専科教員の立場として、「英語が好き」「英語で話したい」という児童を育てるためにはどのような関わりができるだろうかと常に考えています。授業を参観させていただき、沢山ヒントをいただきました。ありがとうございました。 |
| 2 | 高橋 大介 | 白石市教育委員会 | 小学校1年生の子どもたちにしっかりと表現力が身に付いていると感じました。また、町全体を上げての取組等、大変参考になりました。ありがとうございました。 |
| 3 | 木村 明子 | 赤井南小学校 | 語る会のフリートークは、人数が多過ぎて話しづらかったです。三つぐらいの少人数グループに分けたり話合いの観点を提示したりする等、工夫の余地があったように思います。 |

| | | | |
|---|-------|--------|--|
| | | | <p>特区での独自の取り組みですが、自分の市の英語教育や自分の授業に参考になる部分もたくさんありました。</p> <p>石巻地区でご活躍されていた原田先生がお元気で頑張っている姿を拝見し、嬉しかったです。自分の励みにしていきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> |
| 4 | 森 敏樹 | 桜丘小学校 | 先生方の前向きな姿勢や子どもたちの明るく楽しく授業に取り組む姿勢に感動しました。 |
| 5 | 小関 亮真 | 矢本西小学校 | <p>児童が明るく、楽しく活動しており、学年を通して積み重ねてきたことが出ているなど、児童の学習の様子から伝わってきました。</p> <p>相手意識が高く、ただ外国語を話す聞くだけではなく、相手の発言に対しての応答の仕方もよく身に付いており、より対話を意識した学習が積み重なっているなど感じました。貴重な授業を参観させていただきありがとうございました。</p> |
| 6 | 佐賀真由美 | 矢本西小学校 | <p>子どもたちが「明るく、楽しく、面白く」活動に取り組む姿に感銘を受けました。全員が全身で英語での活動を楽しんでいて、理想的な授業であると思いました。七ヶ浜の小・中学校、町、地域全体で取り組んできた成果であると感じました。</p> <p>語る会での話し合いでは、多くのことを学ばせていただきました。</p> <p>教科書を使わない独自のカリキュラム、40分授業などには大変驚きました。英語の読み聞かせ、健康観察等授業以外でも取り入れていることや、掛け合いのチャンツ、分かりやすい掲示物、カード、ジェスチャーの大切さ、発話量の確保、ALTとの打ち合わせ、そして何より指導者自身が楽しむことなど、大変勉強になりました。</p> <p>ありがとうございました。</p> |
| 7 | 和田 祐子 | 松ヶ浜小学校 | 子どもたちの英語に向かう前向きな姿勢が、ものすごいパワーとして感じられる授業であった。互いにコミュニケーションをとっている中で、話している方も聞いている方も英語で伝わった喜びを感じ、それが「明るく・楽しく・おもしろく」につながっていた。振り返りを重視し始めてから2か月ほどになるが、時間の確保はもちろん、全体でのまとめ・復習の効果や自信をもたせる効果など、有効性が見える授業であった。「語る会」では、先生方が日頃どんなことに悩み乗り越えながら授業を作っているかや、それらを通して英コミュの授業を観る力・語る力がいかに高まっているかが分かり、大変有意義であった。 |
| 8 | 齋藤 美穂 | 松ヶ浜小学校 | <p>1年生の授業では、しっかりインプットをしたおかげでアクティビティで戸惑うことなくアウトプットできていました。T2の担任の先生が楽しみながら発音していたことで子供達も安心して活動できていたと思います。</p> <p>4年生の授業でも、友達同士の交流を楽しみ、積極的に活動していました。</p> |

| | | | |
|----|-------|--------|---|
| | | | 振り返りは、本時の学習を深め、また次時の学習への意欲につながるものになっていたと思います。 |
| 9 | 新田 聡 | 松ヶ浜小学校 | <p>1年生の英単語やセンテンスをリズムカルに繰り返し慣れる手法や、4年生の「話す」と「聴く」にメリハリをつける手法は、長い期間の積み重ねから定着した姿だった。さらに1年生も4年生も、積極的な対話を促す仕掛けの必要性をコンセプトとしてもち、子供達の発話意欲を引き出す工夫がされていたと思う。</p> <p>終末の振り返りについては、「感想発表」とどまらない「復習による定着の時間」として位置付けられることがはっきりとした。本校のこれまでの実践から生み出した成果と言える。</p> <p>課題としては、指導者として発話の「量重視」から「質重視」への意識をもつことと、シンプルな授業構成からより「自然なコミュニケーション」を生む仕掛けを試すことだと捉えている。いずれにしても本校の先生方の「アイデンティティを表現する授業」を創り出そうとする英コミへのnaturalでpositiveな取組に敬意を表したい。</p> |
| 10 | 折居 晃弘 | 松ヶ浜小学校 | 英語コミュニケーションのスタート時から関わってきましたが、当初に比べて「明るく」「楽しく」「面白く」の質の変化を感じます。児童のコミュニケーション能力も上がってきていると感じます。また、振り返りにも工夫がみられ、学習した内容の確認も兼ねた振り返りになっていました。授業作りの根底にあるのは、担任とALTのコミュニケーションの高さです。それが自然と行われているのも、プラスに働いていると思います。 |
| 11 | 榊原 啓太 | 松ヶ浜小学校 | <p>子供たちは明るく楽しそうに授業を行っていた。T1とT2の先生たちが楽しそうに授業していることが子供たちにも伝わっていると感じた。また、ジェスチャーを大きくしている姿を見て、普段の授業から積み重ねが重要だと分かった。毎日の授業を大切にしていく。</p> <p>語る会では、いろいろな先生方の意見を聞くことができた。「コミュニケーションは話し手だけでなく聞き手の方も重要だ」という意見は、私の中で今までなかった。英語の授業以外にも通じることなので、実践していく。最後に「明るく、楽しく、元気に」の楽しくは、どのように授業を行なっていけば達成できるか考えた。英語が分かる、できる楽しさやコミュニケーションの楽しさなどがあると思う。1つ1つ達成できる方法を考えながら指導していく。</p> |
| 12 | 金井 実央 | 松ヶ浜小学校 | <p>1年1組の「すきなくだものなあに？」の授業を主に拝見しました。</p> <p>普段1年生支援として1年生の学級に入ることも多いのですが、本当に個性豊かな児童ばかりだと日々感じています。学習には前向きですが、人前で何かを表現したり、突発的な活動には消極的になってしまったり、その凸凹はさまざまです。</p> |

| | | | |
|----|-------|--------|--|
| | | | <p>今回の公開は、普段の英コミの授業と時間も場所も状況も大きく違う中で、果たして成立するのだろうかとドキドキしていました。4月5月は頻繁に英コミの時間も参観することができていましたが、今回はしばらくぶりの参観になりました。私の心配をよそに、子どもたちは授業が始まってからあっという間に学習に入り込み、ただ乗せられるだけではなく、子ども一人一人が主役として輝く授業になっていたように感じます。</p> <p>表現をインプットさせるための活動であるチャンツでは、AグループとBグループでの掛け合いが見事で、体を向かい合わせる対話型のチャンツは初めて見ましたが、お互いがお互いの英語を引き出しているように見えました。</p> <p>メインのアクティビティでは、子どもたちが一人一人自分の作りたいジュースに使われるフルーツを集めるというミッションがわかりやすく、どの子どもも目的を理解して活動に参加できていたように思えます。普段授業ではあまり目立たない子どもも、友達に対して「次は君の番だよ」「こう言うのを忘れてるよ」と声をかけている姿が印象的でした。フルーツをお友だちから集めるというミッションが終わったあとも、すぐ席に着くのではなくケビン先生のところに行きもう一度アウトプットをする行程を一つ挟むことで、ゲームに参加しっぱなし、楽しみっぱなし、ではなく自分の学びとする工夫がされていたんだと気付きました。</p> <p>子どもたちの頑張りはもちろん先生方の英語コミュニケーションという授業への向き合い方が分かり、さらに自己研鑽に努めようと志す日となりました。</p> |
| 13 | 鈴木 洋 | 松ヶ浜小学校 | <p>自分が以前勤めていた学校と比較して、七ヶ浜の小学生は英語に対する苦手意識がとても低いと感じています。英語を楽しく、面白く感じさせるこの5年間の取り組みの成果だとも感じました。今まで作成した指導案や教材を共有の財産にして、これからも教材研究に励んでいきます。</p> |
| 14 | 長澤亜紀子 | 松ヶ浜小学校 | <p>たくさんのお客さんがいる中でいつも通りの学習ができたのはケビン先生との関係ができていたので安心して取り組めたのだと思います。週1回しか関わらず、T1が担任ではないのでALTと児童との関係づくりも大切だと思いました。</p> |
| 15 | 岸 美瑞保 | 松ヶ浜小学校 | <p>体を動かしながら映画に親しむ姿を見て、チャンツは発達段階に応じて取り入れたいと思います。</p> |
| 16 | 瀬戸口 眸 | 松ヶ浜小学校 | <p>子どもたちみんなが英語を話したくてウズウズしている姿がとても素敵でした。言葉で伝えるのが苦手な子もT1のジェスチャーを、見ながらジェスチャーを使って表現していたのもいいなと思った。</p> |
| 9 | 佐藤枝里香 | 松ヶ浜小学校 | <p>・1年生の授業では、テンポ良く繰り返し発話練習をしていたのが印象的でした。低学年を飽きさせない、ジェスチャーやチャンツでのダンスの工夫が</p> |

| | | | |
|----|-------|--------|---|
| | | | <p>とても良かったと思いました。チャンツでは、クラスを2つのグループに分けて、掛け合いをしながら歌っていたのが良かったです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生の授業では、ただ数を伝え合うだけではなく、大きさを比べてレスポンスをする、という目的意識を持ったアクティビティが良かったです。活動に入る前には、先生の見ているポイントを伝え、子どもたちがそのポイントを意識して活動できるように声掛けしていました。 ・授業の振り返りでは、本時で使った表現を何度も繰り返させ、本時のめあてを意識した振り返りができていたのがとても良かったと思いました。 |
| 10 | 松川 昂 | 松ヶ浜小学校 | <p>子どもたちがコミュニケーションをすることができるように、アクティビティの内容だけではなく、配布物や座席など、環境についても考えられていました。単元の最後でどのようなアクティビティをするのか、見通して毎時の授業に取り組んでいきたいと思いました。</p> |
| 11 | 河原田千春 | 松ヶ浜小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・4年生の授業は、前半を参観しました。英語を発音する楽しさ、ALTや友達と対話する楽しさを、子どもたちが体全体で表していて、こちらまで楽しさが伝わってきました。 ・Magic number game では、雨音の中、友達に聞こえるように大きな声で言ったり、友達の発音を集中して聞いたり、相手とコミュニケーションをとろうと必死になっているのが微笑ましかったです。これまでに何度もインプットしたからこそ、自信をもってアウトプットする姿に繋がったと思います。 ・1年生は、チャンツの場面が印象に残りました。低学年にぴったりなリズムと速さと振り付けでした。何よりALTやT2が楽しそうに笑顔で活動していたのが、子供たちに伝わったと思います。 ・ミックスジュースを作ろうというゴール設定が適切でした。チャンツでインプットした単語を使って、生き生きと交流していたのが良かったです。 |
| 12 | 原田真紀子 | 松ヶ浜小学校 | <p>自分の数を尋ね合う活動に意欲的に取り組むことができていた。振り返りの活動では、これまでの「ゲームが楽しかった。」「勝ててうれしかった。」という感想から、友達について新たに知ったことや自分との共通点を見つけたことに対する喜びを書いている感想に変わってきた児童が多く見られた。</p> |
| 13 | 板橋 瑞枝 | 松ヶ浜小学校 | <p>1年生も4年生も積極的に英語でコミュニケーションを取る姿が見られて素晴らしかった。</p> <p>アクティビティの中に発話量を増やす工夫が多数あり、大変勉強になりました。</p> <p>語る会はグループで行った方がもっとぎっくばらんに意見を交流できたと思う。</p> |

| | | | |
|---|-------|--------|--|
| <p>【七ヶ浜町立亦楽小学校】 公開授業Ⅰ 4年1組 Kevin Alexander Blake (T1) 清野 弘平 (T2) 「What do you want?」</p> <p>公開授業Ⅱ 5年1組 Nathaniel Hazel Stuart(T1) ニッ森 進(T2)</p> <p>令和3年11月11日(木) 「What would you like?」</p> | | | |
| 1 | 阿部 久李 | 岩沼西小学校 | ALTのテンポの良い Words and sentoces practice が児童の意欲を高めおり、楽しい雰囲気を作り出していました。ニッ森先生の穏やかな指示や言葉掛け、日本語で言い直すことなどにより、安心して授業に参加できる児童もいると感じました。今回は特に I'd like～.のフレーズを I like～.と書いてしまいがちだと思うので、その留意点をジェスチャーと声の調子で気をつけさせていたのも、素晴らしいなと感じました。 |
| 2 | 熊田 美香 | 閑上小中学校 | テンポよく授業が進められており、また明るい雰囲気の中で児童が安心して授業に参加している様子が伺えました。導入時のウォーミングアップの活動では、発言に対しての反応をする機会もあり、お互いを認め合う雰囲気が作られていたと思います。 単語練習や文章の練習の際も、リズムを変えるなど飽きないように工夫されていたり、メインの活動も臨場感のある場面設定となっていたりと、大変勉強になりました。今日の授業を本校のALTと共有し、今後の授業に活かしていきたいです。本日はありがとうございました。 |
| 3 | 堀切恵美子 | 不動堂小学校 | 目の前の児童がよりよく英語を吸収できるように、授業づくりを大切にできるところが特区ならではの利点であり、大変羨ましく思えました。 指定校でないところでは奔放に学習展開できないところもあり、評価の縛りもあるため、真似したくても全てはできませんが、明るく、楽しく、面白く…という語学学習を、指導者も学習者も味わえるような授業づくりは、今後も意識していきたいと改めて感じました。 久しぶりに生の公開授業を見せていただき、感謝です。 |
| 4 | 佐藤久美子 | 矢本西小学校 | 児童が生き生きと楽しく英語でコミュニケーションを取っている姿に感銘を受けました。英語に対する苦手意識やアレルギーが生まれない環境にあると感じました。 また、ネイト先生の、斬新なハエ叩きの使い方、職員に伝講したいと思います。 語る会は、体育館での開催でしたので、座る位置や先生方の声の大きさによって、聞こえにくい部分がありました。後半、マイクを使っただけのようになり、聴きやすくなりました。ありがとうございました。 |
| 5 | 伊藤 優文 | 栗駒南小学校 | 子供たちが笑顔で、授業を楽しむ様子が見られました。参観から学んだこ |

| | | | |
|---|-------|----------|--|
| | | | とや話合いで得た情報を、今後の授業作りに役立てたいと思います。ありがとうございました。 |
| 6 | 菅原 南 | 女川中学校 | <p>5年生の授業を参観させていただきました。</p> <p>教室に入った瞬間から、学級の雰囲気がとてもよく、授業中もそれは変わりませんでした。英語でのやり取りの中でも、学級のあたたかさを感じました。Good Job を伝えたり、授業終わりの See you next time. であったりと、ジェスチャーを交えている点やリズムを付けて繰り返させている点が印象的でした。児童も楽しく何度も繰り返して、自然と体に染み込んでいくのだろうと感じました。教科書にとらわれず、目の前の児童にあった授業をつくるのが大切であることが分かりました。私も「明るく楽しく面白く」を大切にしながら、今後の指導にあたっていきたいと思います。貴重な授業を本当にありがとうございました。</p> |
| 7 | 丸山 梓 | 向陽台小学校 | <p>1年生の頃から、たくさん英語に触れ、慣れ親しんできたことや、「英語が好き」ということが、子どもたちの様子を見てすぐに分かりました。高学年でも、はきはきとした声で発音する姿は、学習の積み重ねの成果だと思います。同時に、学級の雰囲気づくりや先生方のチームワークも、授業づくりに大切だと感じました。外国語が教科となり、力を育成することはもちろん大事ですが、その過程で、英語に触れることを楽しんだり、英語を使って友達や先生とやりとりをし、達成感を得たりしながら、外国語で表現する力や異文化に対する理解力を深めていきたいと感じました。非常に勉強になる研修会でした。参加させていただき、ありがとうございました。</p> |
| 8 | 田中 浩司 | 女川町教育委員会 | <p>亦楽小学校と向洋中学校の公開に参加しました。</p> <p>亦楽小学校の授業は児童の学ぶ姿、教員の絶妙な連携、教具の活用…全てにおいて素晴らしいものがありました。児童が生き生きと学ぶ姿に胸が熱くなりました。子供達に身に付けさせたいコミュニケーションスキルを明確にし、学びの中でどのように身に付けさせるか、考えながら見ていました。今回の授業では、相手の目を見てというねらいが提示されました。であれば、授業の振り返りの場面で担任が見とった児童のコミュニケーションの姿を学級全体にフィードバックするとよかったのではないかと思います。非常に良質な人間関係が築けている学級なので、振り返りの最後にピンクの女の子が発表した際、こっそりサポートした女の子の姿を取り上げ、広げたいと思いました。児童が互いにコミュニケーションを取りながら、協力して学びを作り上げていくようなことも可能なのだろうと思いました。</p> <p>向洋中学校では5ラウンドシステムによる単元構想を授業を通して学ぶことができました。何より驚いたのは、生徒が誰一人として学びに乗り遅れていなかったこと、学びに参加していたことです。授業中での生徒指導が効果的に機能していると感じました。生徒たちに学びを委ねる場面があり</p> |

| | | | |
|----|-------|---------------------|---|
| | | | <p>ました。そのときに教師はどのような役割を果たすのか、直接指導ではない関わりの在り方を考えながら見ていました。小学校で身に付けた力の上に確かな学力を積み重ねている指導に感動しました。</p> <p>素晴らしい取組を直接目の当たりにすることができ、心から感謝申し上げます。</p> |
| 9 | 青山 琢哉 | 古川第二小学校 | <p>皆生き生きと授業に向かう姿勢に感動しました。明るく、楽しく、面白く授業が実現されており、児童も楽しみながら力をつけられる環境にあることが素晴らしいです。英語をコミュニケーションツールとしてもっと活用できるものにしていけるよう更に努力して行こうというモチベーションにつながりました。ありがとうございました。</p> |
| 10 | 工藤 里江 | 多賀城東小学校 多賀城八幡小学校 | <p>大変遅くなり申し訳ございません。授業を参観させていただきありがとうございました。</p> <p>生徒たちの様子から、日頃の授業をととても楽しんでいることが伺えました。</p> <p>T1ALT、T2HRTと先生方の役割がはっきりしており、理想的だと思いました。ALTが役割をしっかりと理解し、子どもたちに上手くアプローチしていることに感心しました。そしてその姿にうらやましさを感ずりました。</p> <p>いいところをまねしながら、これからの授業に学んだことの一つでも多く取り入れられたらいいなと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> |
| 11 | 榎谷 愛莉 | 多賀城八幡小学校 | <p>子どもたちが楽しそうに活動していました。英語で会話ができているのも素晴らしいと思いましたが、友達との対話を楽しんでいること、自分の思いを相手に伝えていることがいいなと思いました。英語での表現が分からなかった時、「何て言うの?」と素直に友達に聞き、聞かれた友達も当たり前のように教え、そして教えてもらったことに対して「あー!」と反応する、自然なやりとりが見られました。</p> <p>それからALTのケビン先生の指導、子供との関わりがととても素晴らしかったです。</p> <p>担任とALTの連携、安心して自分の気持ちを伝えられる学級経営の大切さを改めて実感しました。</p> <p>感想が大変遅れてしまい、申し訳ありませんでした。大変勉強になりました。ありがとうございました。</p> |
| 12 | 新田 聡 | 松ヶ浜小学校 | <p>率直に述べると、これまでの積み重ねが生きている授業と、残念ながら反映されていない部分が多かった授業であったと感じた。これは七ヶ浜の取組が「独特の個性」をもったものであることから生まれた状況であると考え。英コミの授業が、いわゆる「担任のアイデンティティの表現」として作り出され、意味付けられるものであることから、「七ヶ浜のやり方にどれだけどっ</p> |

| | | | |
|----|-------|-------|--|
| | | | <p>ぷり浸かっているか」が表れてしまうということであろう。しかし、「どっぷり浸かる」ことには TRY&ERROR も含まれるため、私たちは安心して、じっくりと取り組むことができているのである。</p> <p>このことは「語る会」での対話の中でもあらためて示されていた。象徴的だったのが「評価」についてである。「ペーパーテストに頼らない」独自の評価をするために必要なことについて、これもまた真剣な TRY を繰り返す必要がある。そしてそれらを共有する必要がある。</p> <p>英コミへの取組は、「個人」が責任をもつことから始まり、「学年」「学校」などの仲間でも共有し、さらに「町内の学校」での確実な共有と意思統一が必須であることを、今回の SHICHIGAHAMA ENGLISH WEEK で再確認したところである。</p> |
| 13 | 大友 邦彦 | 亦楽小学校 | <p>4年生の授業を参観しました。子供たち同士よくコミュニケーションをとっている様子が見られました。雰囲気も良くお互いにはないしやすい関係作りができていたと思います。その中で指導者が子供たちに言わせたいセンテンスがはっきりと分かり、それにこだわって子供たちに関わっていたところがよかったですと思います。楽しい雰囲気の中にしっかりと学びがあった授業だと思いました。</p> <p>また、How was class? の前に行なっていた、アクティビティの振り返りの場面ですが、既にそこが本時の review になっていたのではないかと思います。その活動も含めて本時の振り返りにできると振り返りの活動がより充実していくのではないかと思います。</p> |
| 14 | 中島 京子 | 亦楽小学校 | <p>マスク越しでも子供たちの表情が見えるようでした。</p> <p>楽しそうに授業しているのが分かりました。</p> <p>それは先生方と ALT の雰囲気がいいからだと思います。</p> <p>大人が楽しそうにしていれば子供は安心して授業に参加でき、声を発することができます。</p> <p>私は授業を担当することはありませんが、職員室の空気感を通して ALT が働きやすく打ち解けやすいと思ってもらえるようにしています。</p> <p>今日は4年生も5年生も普段通りのつぶやきやツッコミがある活動でした。</p> <p>語る会では、その良さを他校の先生方がすぐに感じ取って感想を話されました。</p> <p>そのことに対する亦楽小の「英コミは授業だけでは成り立たない」という言葉を実感しています。</p> |
| 15 | 宇和野美咲 | 亦楽小学校 | <p>語る会を通して英語の専科が広まりつつある状況の中、担任が授業にいることの大切さを知った。子供たちのことをよく知っている担任がいることで、子供たちが興味をもったり楽しめたりできる授業内容を考えることができること。そして、担任が T2 だからこそ俯瞰的に子供たちの様子を観察</p> |

| | | | |
|----|-------|-------|--|
| | | | <p>できること。これらは専科ではなく、担任が T2 の立場にいることの良さと気付かされた。その良さを生かせるように今後も頑張っていきたい。</p> |
| 16 | 小野 隆也 | 亦楽小学校 | <p>授業を通じて子供同士で学び合う姿から、子供の英語に対する考え方や意欲が高いと感じられた。また語る会では通常の学級の様子が英語コミュニケーションにおいてつながりを感じた。</p> |
| 17 | 樋浦 伸司 | 亦楽小学校 | <p>通常の研修会のようにとても参加しやすい雰囲気でした。先生方本当にご苦労様でした。</p> |
| 18 | 工藤理恵子 | 亦楽小学校 | <p>同じように普段英語の指導をされている他市町の先生方の授業に対するお考えや悩みや迷い等を聞くことができ、貴重な機会になった。</p> <p>T2 としてではなく、ゆっくりと他の学級の児童の姿を見ることができた。これからは T2 をしながらも、少しでも丁寧に学級の児童の英語に取り組む姿を見ていきたいと思った。</p> |
| 19 | 佐藤 晃子 | 亦楽小学校 | <p>これまで亦楽小の先生方が積み重ねてきたことが十分に発揮された授業でした。T1 が示すリズム、子供たちとのコミュニケーション等が取られ、児童が楽しく学ぶ姿があります。</p> <p>耳が育っていること、ものおじしないこと、それらは生の英語を身近に触れてきたことの証です。今後も T1 との打ち合わせを大事にしながら、英 C に取り組んでいきたいと思いました。</p> |
| 20 | 高松 祐士 | 亦楽小学校 | <p>子供たちがとても楽しそうに英語に取り組んでいる姿がすばらしかった。英語を楽しんでいる、興味をもって授業に臨んでいました。4 年生の授業はまさに「明るく、楽しく、面白く」であり、子供たち自身が英語でコミュニケーションしていました。5 年生は声の大きさは 4 年生ほどではないが、しっかりと相手の話す英語に耳を傾け、受け答えしていました。ネイティブの英語をシャワーのように浴びさせ続けてきたことで、子供たちは英語に慣れていると実感しました。発話量も十分に確保できていたと思います。また、「何を育てるのか」「どんな力を身につけさせたいのか」をまず教師がしっかりと明確にし、それを子供たちに示し、授業を構築し、振り返りの場面を意識していくことは大切だと思います。今日の授業を見て、これまで繰り返し実践してきたことが子供たちの力になってきていると実感できるものでした。</p> <p>語る会は、毎度のことながら先生方が感じたこと、思ったことを素直に表出していて良かったと感じました。これからも、下手に飾らない言葉で自分の思いを伝え合い、子供たちの学びの姿から、授業について学び合っていきましょう。</p> |
| 21 | 菅原 孝裕 | 亦楽小学校 | <p>子供たちの表情の良さ、反応から英語 C の活動に思いっきり楽しんで参加している事が伝わった。初めから気持ちを盛り上げていくことの大切さを改めて感じた。英語をシャワーのように浴びせる、という事を単調にならず、強弱、緩急に気を付け ALT の先生が行っていることが子供たちの意欲を大き</p> |

| | | | |
|----|-------|-------|---|
| | | | いものにしていた。T2 の一つ一つの活動に対する子供たちへの説明、投げ掛けが適切で、T1 が隠れることなく進められていた。子どもたちから定型の単語、フレーズのやり取りだけでなく、自然な英語での発話が多くの子から発せられていて、本当に自然なやりとりが行われていたことに感心した。 |
| 22 | 村上 美紀 | 亦楽小学校 | 子供たちがとても生き生きしており、どの活動でも英語を用いたコミュニケーションをととても楽しんでいると感じました。4年生の How are you time では先生方にも積極的に交流をしにいく子供が多くて驚きました。Let's shopping の活動では、英語を一生懸命言おうとする前向きな姿を見ることができました。また、5年生の子供で振り返りとして、「みんなで教え合って注文できた」と書いている子供がいました。どちらのクラスでも、子供たち同士と一緒に学ぼうとする姿を見ることができました。 語る会では、普段知ることのできない他校の現状を知ることができ、勉強になりました。 |
| 23 | 針生 武宏 | 亦楽小学校 | 今までの英語コミュニケーションの学びの積み重ねを感じました。ALT と担任のコンビネーションや、持参準備の重要性を痛感しました。 評価に関しては、今後考えていかななくてはならない検討事項だと感じます。 |
| 24 | 吾孫子 修 | 亦楽小学校 | 自然なやりとりが行われていた、という感想がありました。とても大切なことであり今後も大切にしていかなければならない視点だと思います。お店やさんやレストランという仮定の設定ではありますが、子供たちが自分の好みで注文したり、高いので購入するのをやめたり、安いので嬉しそうに買ったりできることが「明るく楽しくおもしろく」を支えているのだと改めて確認できました。 また、授業がリズムカルであることや T1 と T2 がアイコンタクトで授業を進めること、飽きさせない繰り返しの重要性なども確認できました。 評価が課題、という意見がありました。T2 を担任が担当する本町では工夫すればうまくできるのではないかと思います。 |
| 25 | 小笠原恵子 | 亦楽小学校 | 4年生は、単元を通して変化のある繰り返しをしており、英語表現が自然に身に付いてきていたので、まさにツールとしての英語になっていた。その上で、自分の意図したメニューを作り、それを人に伝えることができていた。5年生は、リズム良くどんどん英語を使いながら授業が進んでいて、英語をシャワーのように浴びせることができていた。導入場面での挨拶と好きなものの会話は、今までの学習を振り返って自分のものにするのできる活動だった。1年生はまだ I'm ○○がたどたどしい子どももいるが、高学年までにこのような姿になるのをめざして積み上げていきたい。 |
| 26 | 長沼 勝則 | 亦楽小学校 | 語る会に参加しての感想です。 県内の地域によっては、英語の学習に担任が入っていないくて、英語の担当が大変苦勞している様子が語られた。そうしたことから、七ヶ浜町の英語コミ |

| | | | |
|----|-------|-------|--|
| | | | <p>コミュニケーションの体制はとても良いと改めて思いました。クラスの雰囲気がわかっている担任が T2 として教室に入って授業をマネジメントすることにより、T1 も学習を進めやすくなっているように思う。また、英語コミュニケーションの学習で、楽しく ALT や友達とコミュニケーションをとることができたことによって、他の学習や生活の場面でも、意欲的にコミュニケーションをとることができるようになってきた児童も見受けられる。</p> <p>英語コミュニケーションの学習を進めていくことにより、自然に英会話が出てくるようになってきたり、会話の相手のことを思いやる様子を見せたりする児童がみられるようになってきたことは、大きな成果だと思う。</p> |
| 27 | 菅原 尚明 | 亦楽小学校 | <p>4年の授業を参観させていただきました。word practice (food) では、金額の 4 dollars などリピートなしに反応し発音していました。また、T1 のジェスチャーのみで How much~? を発言していたことから、清野先生が言っていたスパイラル学習、日々の繰り返しの成果に感じました。Let's shopping では「How much~?」の発言を待つこともや、ジェスチャーでヒントを与えるなど、子どもたちなりの自然なコミュニケーションが見られました。</p> |
| 28 | 越後屋 棕 | 亦楽小学校 | <p>授業は主に4年生の授業を参観させていただきました。場面が普段の生活に近く、とても細かく設定されており、入り込みやすいと感じました。食材の産地や値段が違うなど英語を使わせるための仕掛けも多く見られ、子供たちもなるべく安く買うために多くの店に立ち寄りコミュニケーションができていたと思いました。</p> |
| 29 | 當舎 聖美 | 亦楽小学校 | <p>これまでの取組みを振り返ると同時に、他校の先生方の視点で、客観的に自分たちの取組みを捉えることができ、良い時間だったと思う。</p> <p>小学校も中学校も、5年間、独自性に悩み、産みの苦しみを経て、教員としての一つのアイデンティティを獲得していく過程にあると思う。他市町村の先生方の悩みは、我々にも相通ずるものであると思う。小学校英語教育は、この十数年繰り返し同じことを議論している。</p> <p>しかし、英語コミュニケーションが画期的なのは、ALT と担任の人間関係力にフォーカスしたこと、教員集団の関係性、子どもの実態に真摯に向き合っていることだ。</p> <p>以上のことから、専科が進める英語授業が軌道に乗らない理由が明確である。小学校段階において、第二言語の学習には、良好な人間関係が必要条件であるのだと思う。</p> <p>今回の研修会を通して、簡単なことを、粘り強く続ける難しさを改めて再確認した。</p> <p>折り返し地点に立ち、これまで得たものを大切に、進化発展していきたいと思う。</p> |

| | | | |
|---|-------|--------|---|
| <p>【七ヶ浜町立向洋中学校】 公開授業Ⅰ 1年2組 半澤 律子 (T1) Rebecca Yang Xi Lin (T2) 「Unit6/Round1」</p> <p>公開授業Ⅱ 2年2組 氏家 美香 (T1) 半澤 律子 (T2) 「Unit5/Round3」</p> <p>公開授業Ⅲ 3年1組 大橋 智江 (T1) Rebecca Yang Xi Lin (T2) 令和3年11月12日(金) 「Unit3/Round4」</p> | | | |
| 1 | 阿部 久李 | 岩沼西小学校 | <p>中学校の英語の授業を見る機会がなかなかないので、今日はとても良い機会となりました。小学校は歌やチャンツなど、リズムに合わせて英単語やフレーズを練習しますが、中学校のレベルはまた一段と上がり、4.5文の自分の考えを導入時からスラスラと話す姿に驚きました。生徒自身で授業を盛り上げる雰囲気や分からない英語を進んで聞く姿が素晴らしかったです。聞くだけでなく、書くことや考えを共有することなど、さまざまな活動があるからこそ、オールラウンドな英語の力が身に付いていくのだと思いました。</p> |
| 2 | 小出 菜摘 | 雄勝中学校 | <p>生徒のいきいきと取り組む姿が見られました。中3生が男女関係なくコミュニケーションがとれる雰囲気がすてきでした。英語が苦手な生徒が頑張れる活動であり、得意な生徒が能力を伸ばせる活動でもありました。素晴らしいものを見せていただき、ありがとうございました。</p> |
| 3 | 大場 涼祐 | 古川南中学校 | <p>3つの授業を参観させていただいての感想から述べさせていただきます。Small Talkで前向きに自分のことを伝える姿が強く印象に残っています。また誰かの発言に対して何らかのリアクションを取る癖が生徒についていることに驚きました。コミュニケーションを円滑かつ気持ちの良いものにするにあたって必要である、前向きに話す・聴く態度や相槌を重視されており、私自身の指導に是非取り入れさせていただきたく思いました。</p> <p>また授業後の「語る会」では、文法・表現をまとめて指導するタイミングの意図について詳しく教えていただいた上、その活動例までお話いただきました。大変感謝いたします。</p> <p>私自身の担当している学級で今回得られた知見を少しずつ活用していければと思います。本日はありがとうございました。</p> |
| 4 | 菅原 南 | 女川中学校 | <p>どの学年も明るい雰囲気で、英語を楽しんでいる様子が印象的でした。英語での投げかけに対して、皆で反応する姿、分からなくても反応しようとする姿勢が本当に素晴らしいと思いました。小学校からの積み重ねはもちろんですが、中学校での先生方のご指導によって着実に英語力やコミュニケーション</p> |

| | | | |
|---|--------|---------|--|
| | | | <p>ョン力が身に付いているのだと感じました。</p> <p>5 ラウンドシステムに興味があり、今回自分の目で見て、その実際を知ることができ、うれしく思います。Unit を通して繰り返し教えることはとても新鮮で、自分も取り組んでみたいと強く思いました。5 ラウンドシステムという決まった型があることで、生徒も英語に向かいやすいのではないかと感じました。</p> <p>私も「明るく楽しく面白く」を大切に授業をつくっていきたいです。本当に貴重な授業を見せていただき、ありがとうございました。</p> |
| 5 | 石川知賀子 | 高崎中学校 | <p>生徒の様子から「明るく楽しく面白い」授業づくりという目標が達成されていると感じました。小学校から中学校まで系統立てた、一貫した指導体制の賜物だと思います。</p> <p>知識・技能の定着から、目的・目的・場面状況を踏まえた言語活動へと発展させるにはもっと時数が必要ではないでしょうか。単元を通して retelling をゴールにしていることから、思考・判断・表現を見取る performance test の位置付けが難しいと感じました。</p> <p>学力学習状況調査の結果、英語が好きという生徒が小学校からの数値をほぼ維持していることは大きな成果だと思います。思考・判断・表現の達成率についてもどのような結果が出るのか、興味深かったです。</p> |
| 6 | 細谷 文彦 | 金津中学校 | <p>生徒が生き生きと一生懸命英語を話そう、使おうとする姿勢が印象的でした。委員会の方が言っていたように、取組は小中など長いスパンを見据えてする必要があると思いますが、できることを取り入れていこうと思います。ありがとうございました。</p> |
| 7 | 玉野井ゆかり | 仙台教育事務所 | <p>input を十分に行い、生徒の output したいという気持ちをととても大事にしていると感じました。生徒の集中力、英語に向かう意欲、態度が素晴らしい。十分な input を行うことで、自分は listening ができると自信を持たせている。そのことが次の学びへの意欲につながっていると思います。ラウンドシステムは学びの実感を自分で掴み取るものになっていると思います。</p> <p>この生徒たちは生涯に渡り、英語から離れないとも思いました。今後の取組も楽しみにしています。</p> |
| 8 | 林 沙希 | 若柳中学校 | <p>5 ラウンドシステムの、ユニットを一まとめにして学習するということに、興味を持ち参加させていただきました。リテリング、ストーリーライティングというゴールが明確だからこそ、その前段階の input と intake に意欲的に取り組めるのだと感じました。取り入れられる部分を、普段の授業に取り入れさせていただきたいと思います。ありがとうございました。</p> |
| 9 | 木村 英子 | 岩沼北中学校 | <p>どの学年の生徒も英語を話す、聞くことに慣れていて、とても楽しそうに授業に参加していました。これまで学習してきた自分の知っている単語を</p> |

| | | | |
|----|-------|--------|--|
| | | | つないで、自己表現している姿がすばらしかったです。小学校から積み上げてきたことが自信になって、活動する意欲になっていると思いました。語る会でのお話を聞いて、町全体で取り組んできた経緯なども知ることができて良かったです。また機会があれば、ぜひ授業を参観させて頂きたいです。どうもありがとうございました。 |
| 10 | 千葉 美空 | 小原中学校 | 1年生と3年生の授業を参観させていただきましたが、どちらの授業も生徒の発話量・活動量が多く、主体的に楽しく学べると感じました。1年生の授業では、"Are you ready?" "Yes!"の掛け合いが大変印象的で、生徒の反応の大切さにあらためて気付くことができました。語る会では、音読の目的を生徒自身が理解することで、メリハリのある授業になることを学びました。ありがとうございました。 |
| 11 | 桑原 典子 | 富谷中学校 | 本年度分量が増えた新教科書でも、今までの流れでご指導なさっている先生方のチャレンジに頭が下がります。また、それについていく生徒たちにも驚きました。ありがとうございました。 |
| 12 | 佐々木理江 | 利府西中学校 | とにかく楽しそうに授業に参加している姿が印象的でした。繰り返し学習することの大切さを改めて痛感しました。先生方のこれまでの準備大変だったと思います。ありがとうございました。 |
| 13 | 七宮 克徳 | 階上中学校 | 何より生徒が授業を楽しんでいたように見えた。英語を話す(使う)事は意外とレベルが高いと思われるが、物怖じせず取り組んでいたのが良いと思った。耳→口→手と英語が spoken から written になると思うが(学年が上がるにつれて)5ラウンドを積み重ねると、量、質ともに上がっているように感じる。そのバランスの取り方(spoken と written)がどうなのか興味深い。(授業を実践している先生方はどう捉えているのか) |
| 14 | 新田 聡 | 松ヶ浜小学校 | どの授業も「七ヶ浜5ラウンドシステム」をはっきりと表したものだ。横浜、熊谷モデルとの相違を示し、オリジナルシステムとしての良さを十分に確認できた。短期間でここまで確立している先生方に敬意を表したい。向洋中の先生方の「チームワーク」の良さは、生徒の実態把握、授業作りにおいてこれまでの Open Class (学校間公開)で随所感じてきた。それはALTをT2に据えた授業でも存分に発揮され、非常にスムーズかつアクティブな流れの中で授業が展開されていた。また、向洋中の授業でいつもある「安心感」は、「生徒自身が学び方を知っている」ことからくるものだ。今回も感じた。もちろんこのことも素晴らしい「チームワーク」を土台としていることは明らかである。 |
| 15 | 白鳥美智代 | 向洋中学校 | まさに、明るく、楽しく面白い精度の高い授業だったと思います。子どもたちが学ぶことに夢中になる姿に感動しました。指導者の熱量が子どもたちにも伝わるのだと感じます。小学校からの連続した学びがベースにあることも分かり、小中連携の大切さ |

| | | | |
|----|-------|-------|---|
| | | | <p>を改めて感じました。</p> <p>英語科の先生方の日々の研鑽に敬意を表します。素晴らしい授業をご提供いただきまして、ありがとうございました。</p> |
| 16 | 菊地 博明 | 向洋中学校 | <p>いつもの通り、「明るく、楽しく、おもしろく」を根底とした、英語の学習を楽しむ様子が感じられる授業だったと思う。5ラウンドの中心をラウンド4(リテリング)と捉えての授業構成について、今回の研修会でラウンド1(1年生)、ラウンド3(2年生)とともに、それを受けてのラウンド4(3年生)といったラウンドの一連の流れを実際に見ることができて、専門外ながらその構成を改めて確認できた。それぞれの学年において、全ての生徒が授業に参加し、一生懸命取り組む姿を見られたことが何よりうれしかった。普段教室で行っている授業を、体育館で行うにあたり、各机の間隔やマイクを使った声の響き、黒板までの距離、期間支援をする際の移動時間など、わずかな違いではあるが、微妙に生徒達の反応がいつもと異なったことに、場所を変えての授業実施の難しさを感じた。</p> |
| 17 | 阿部 光宣 | 向洋中学校 | <p>生徒が、英語の会話も聞き取りや自分で考えた英語で答えるなど楽しく英語を学んでいた。英語の言葉が、抵抗なく学べているのが、素晴らしいと思いました。</p> |
| 18 | 笠原 洋平 | 向洋中学校 | <p>生徒はもおおじせず、積極的に活動に参加していた。指導者はテンポリズムよく授業を運び、常に生き生きしたムードをキープしながら各目的に迫った授業を展開できていた。語る会ではあまり疑問や反論は出ず、1時間の中で想像以上の発話量だったことが話題の中心で、改めてラウンドの効果を感じた。</p> |
| 19 | 浅野 航大 | 向洋中学校 | <p>本日の公開授業では2組の生徒たちがいつも以上に生き生きとした表情で、まさに「明るく、楽しく、おもしろく」といった様子で英語を発話していて大変素晴らしいと感じました。特に驚いたのはその音読の量です。何回も何回もペアを変えながら、繰り返すことで、身体で英語を体得しようとしていたように感じました。プリントが2種類用意されているのも、生徒自身が自分で選択することができるようになっており、非常にきめ細やかな指導だと感じます。英語をこんなにも抵抗なく、すらすらと発話できるのは、やはり小学校からの積み重ね、そして何より氏家先生、半澤先生の日頃の指導の賜物だと思います。私自身、本日の授業から学んだことを自らの授業改善に生かせるよう努力したいと思います。本日は素晴らしい授業を参観させていただきありがとうございました。</p> |
| 20 | 荘司 知子 | 向洋中学校 | <p>生徒たちの活発な発言や表現力が素晴らしいと感じました。音読や発言することに動じることなく何よりも笑顔で発表している姿が印象的でした。ありがとうございました。</p> |
| 21 | 鈴木 一行 | 向洋中学校 | <p>生徒たちが最後まで授業に参加し、得意不得意はあると思いますが全員が取</p> |

| | | | |
|----|-------|-------|--|
| | | | り組んでいたことに感動しました。語る会で、改めて七ヶ浜町のグローバルプロジェクト、9年間を通した指導が良いことがわかりました。他教科もしっかりと生徒たちの指導、成長のために力を尽くしてきたいと感じました。ありがとうございました。 |
| 22 | 丸山美智子 | 向洋中学校 | どの学年も英語を楽しく学習している様子が伝わってきました。また、どんな発言も教師やクラスメイトが温かく受け入れてくれる雰囲気が作られており、学力の差があっても安心して授業に参加し、学習することができていました。自分の教科でもこのような受容的な雰囲気を作ってきたと思います。 |
| 23 | 横山 尚人 | 向洋中学校 | 生徒が生き生きと活動していてよかった。コミュニケーション力をつけるための1つの手段としてとても良い取り組みだと感じた。 |
| 24 | 佐久間聡子 | 向洋中学校 | 各学年とも豊富な発話量でコミュニケーションを楽しんでおり素晴らしい時間でした。また温かい雰囲気も心に残りました。1年生の授業では、繰り返しリスニングに取り組むことにより、子供たちの中で教科書の内容が浸透していくのがよくわかりました。また、もっと知りたい、やってみたいという気持ちも伝わってきました。3年生の授業では、コミュニケーション能力の高さを強く感じました。カタカナでワークシートを書き込んでいる生徒もいましたが、story telling を力を合わせてできていたことが素晴らしいと感じました。英語科の先生方本当にお疲れ様でした。 |